

R 2. 10. 6 魅力あるまちをつくろう！部会 第1回学習会 議事概要

- 1 日時場所 令和元年10月6日(火)午後7時～午後8時30分
WEB会議
東淀川区役所3階304会議室
- 2 出席者 魅力あるまちをつくろう！部会委員9名、他部会委員3名、
- 3 議題
(1) 地域活動協議会に対する支援について

(2) 西部地域まちづくりについて

意見及び回答（※ 枠内は委員意見、枠外は区役所職員意見）

(1) 地域活動協議会に対する支援について

○地域活動協議会（地活協）について

- ・ 地域活動協議会と町会との関係性が希薄では。地活協の活動が町会に知られていない感じがする。

○地域担当制について

- ・ 地域担当制については、H30から防災を基軸とした支援となった。地活協の立ち上げ当初は、会議等に毎回出席されて関係性ができていたが、今は、防災事業のみの参加なので担当者がわからない。地域住民との関係性を築くという点で、現状の認識はどのように考えられているか？
- ・ 地域担当制の防災を基軸とした支援から、支援の範囲を広げていくという考えはありますか？

○地域づくりアドバイザーについて

- ・ 地域づくりアドバイザー3名で17地域を支援するのは大変だなと。1つ1つの課題解決が時間を要するので、区役所内部も情報共有等で任せきりにすることなく、バックアップする体制を作っていただければと思う。
- ・ 地域づくりアドバイザーの取り組みに「お困りごとサポート等のコロナ後の事業再スタート」とあるが、支援の具体例を知りたい。
- ・ 広報力向上の支援で、いろいろな講座しているが、定期的に実施しているか教えてほしい？また、これまでの実績も教えてほしい。
- ・ 地域づくりアドバイザーは地活協などの大きい組織や団体との繋がりが強い。もう少し、草の根的に活動している方や団体との繋がりを作るような取り組みを考えているか？
- ・ 地活協との関わりが薄い方を支援するような取り組みはあるか？

(区役所回答)

○地域活動協議会（地活協）について

- ・地活協とは、校下ごとに町会やNP0などの色々な皆様に参画いただいて、地域のことを考え活動してもらう仕組み。毎年、様々な活動を計画・実施しているが、特に今年はコロナ禍でなかなか活動ができないこともあり、地域内での広報が行き届いていないようである。広く活動を知っていただくために広報等でバックアップしていきたいと考えている

○地域担当制について

- ・H30から、地域担当制の職務を防災を主たるテーマにしたので、地域の全ての活動に参加することは難しいが、職員の防災知識や、防災備品等の取り扱いのスキルアップに励んでいるところである。これらを地域に還元し、地域の防災力向上の一助にしたいと考えている。
- ・防災を基軸とした取り組みが2年経過した。毎年、体制について検証し議論しているが、引き続き検討を重ねたい

○地域づくりアドバイザーについて

- ・地域づくりアドバイザーの業務について、地域での意見や課題を担当内で共有する会合を月に1回行うとともに、内容によっては、その都度、情報共有するなど、それぞれに任せきりにすることなく、職員もバックアップする体制を整備している。
- ・地活協活動の1つである食事サービスや百歳体操等は、継続的に開催することに意義がある取り組みであるが、コロナへの対策がわからないため実施が難しいというご相談をたくさんいただく。区の保健師と連携し、具体的な消毒方法や注意点を整理するなど再開に向けたサポートをしている。また、コロナ禍なので、会議等の開催もリモートを活用した方法を検討している。

このような新しいつながり方が可能となるよう、新しい講座を（スマホなどの使い方講座等）考えていければと思っている。

- ・広報講座については、昨年は1回（Wordで作るチラシ講座）実施（※）したが参加者が非常に少なかった。本日の意見の中で、「新たに広報のサポートしてもらえということがわかった。」という声もいただいたので、たくさんの参加者が見込めるようになれば、回数も増やしたいと考えている。

（※ 平成30年度は2回実施：スマホで撮るおしゃれ写真講座、Facebook活用術講座。）

- ・地域づくりアドバイザーの主たる任務は、地活協が地域の中できちんと活動していけるようにサポートするということ。そのために、いろいろな団体や地域公共人材との橋渡しなどを実施している。
- ・資料の最後のページに、繋がりづくりのお手伝いという項目がある。その中に「みらいEXP0」の開催を掲載している。これは、地活協のみならず、いろいろな活動をしている方をお招きして、いろいろな形での情報交換する会議で、これまで4回開催してきた。今後も開催予定であるが、コロナ過なのでリモート会議も含めた開催を検討している。
「みらいEXP0」では、いろいろな方に参加・交流していただくとともに、各分野で活動している方と地活協をむすび、活動を広げていくサポートをしている。

(2) 西部地域まちづくりについて

- ・新大阪駅周辺には、市営住宅がたくさんあって、その跡地の活用については、有効利用を考えてほしい。これからは、公営住宅の時代ではないと思う。将来、新大阪駅周辺は東淀川区のコアとなるので、そういうものも視野に入れて街づくりを考えてほしい。
- ・阪急の高架については、具体の完成年が見えてきたので、これ以上遅延のないように努めていただけたらと思っています。
- ・阪急の高架については、高架の下がどういう風に使われていくのか興味がある。今後、いろいろな形で関われたらと思います。気になるのは、住民投票の結果次第で事業に影響があるのか気になる。
- ・まちづくりは長期間であるので、世代交代などの問題が出てくる。住みよい街になることを期待している。
- ・これからアクションプランを作ることなので、具体化していくことが大事。ソフト面でどうなるのか。
- ・阪急の高架のことは、近所の方でないと完成予定がわからないので、いろいろな機会で、広報周知をしていただければ。
- ・協議会と部会の中で、構想案の作成について、どのような質問があって、学識経験者がどのようなアドバイスをしたかを教えてほしい。
- ・各地域1人や2人の委員でこれだけのことを進めていくのはかなり委員の負担が大きいのでは。区としてももう少し支援してほしい。
- ・アクションプランを、各地域での地域版保健福祉計画とリンクさせては。そうすれば、マンパワーを注ぐことができるのでは？

(区役所)

- ・阪急の連立事業について、住民投票の結果による影響はないと聞いている。
- ・アクションプランは、シートに短期・中期・長期の取り組みを記載できればと考えている。そこで、9月の部会では部会員だけでワークシートを使って、現在の取り組みを洗い出すことを行った。学識経験者からはアクションプランには取り組みの95%が現在行っている取り組みになってもよい。シートを作成した後でPDCAを回していけばよいとアドバイスいただいた。
- ・9月の部会で使ったワークシートを地域に持ち帰って地活協の会議等で、みなさんで埋めるようなことをしてもらえれば、地域版のアクションプランができあがると考えている。ここ1～2年でアクションプランが完成できるように努めていきたい。
- ・部会のメンバーが少ないので作成が困難ではということについては、たしかに部会員だけでは困難であると思う。地域にお住まいの方が参画してアクションプランを作らないとアクションプランになりえない。その辺を地活協のメンバーでバックアップしていただけたらと思っている。7月の協議会では区長から、地活協の代表者あてに、支援をお願いしている。
- ・豊新地域と新庄地域については各保健福祉計画にアクションプランの内容を含んで作成していただいた。